

「主体性等」の評価と育成 3つのポイント

まとめ



「主体性等」の評価と育成を考えることは、入試のみならず、教育、学修成果を考え、設計することにつながる。そのために外せない観点をまとめた。参考にされたい。

1 現状はどうか？

検討の出発点は、データやエビデンス。
事実に基づいた議論と意思決定を。IRの出番である。

- ▶ データで見る入試～入学後の学生の現状
- ▶ 建学の精神や3ポリシーと入試の現状
- ▶ 学修成果の現状

2 接続はどうか？

自学の教育、高校教育、社会との接続のためには、
学内の各部署と連携し、全学的な視点を持つことが大切だ。

- ▶ 入試と入学後の教育の接続
- ▶ 高校までの教育との接続
- ▶ 変化する社会と大学教育の接続

3 しくみをどうするか？

全受験生が対象になるので、効率的にできるシステムの構築が必須。
入試だけでなく教育にもつながるしくみにしたい。

- ▶ 一般入試でも「主体性等」を測るしくみ
- ▶ 「主体性等」の情報を集めるしくみ
- ▶ 出願～合否判定を接続させるしくみ